

こんにちは、SARAJU代表の岩崎と申します。

いつもSARAJUを御愛顧頂きまして、誠に有難うございます。



SARAJU Historyと題してオーナーの小話がスタートし、もしかしたら一話だけで

打ち切りにされるのではと思っていたのですが予想外の反響を頂いて今回も続けさせて頂く運びとなりました大変嬉しく思います。

今回のお話は・・・

第4話

創業してから25年間の様々な出来事の中でこれを語らずには居られない出来事があの19年前の阪神淡路大震災です。あらためて亡くなられた方のご冥福をお祈り致します。

阪神淡路大震災と言いますが当時私は大阪に住んでいたのが大阪と兵庫の被害の様子は雲泥の差で梅田界隈でも次の日からこちらに比べると何事もなかったように街は動いていたように思います。阪急神戸線で梅田から西宮北口に向かった僕は電車が西へと向かうに連れて事の凄さをまざまざと感じました。今津線は門戸のところで171号線の高架が落ち不通になっていたのも西宮北口からお店のある仁川に向かって歩いていると人の流れは他の地域に脱出しようと西宮北口方面に向かう人が圧倒的に多い中、いつも御来店頂いているお客様と門戸あたりでばったり会い私に気付いたその方は私が大阪から通っている事をご存じの方で「そうか～今からお店見に行くんやね、でもあんまり期待せん方がいいと思うよ」と一言、倒壊していると覚悟しなさいということだ。

大阪を出る時から覚悟はしていましたがあらためてそう言われるとやはりだめかと一層落ち込みとぼとぼと仁川に向かう私…

しかしなんと奇跡的に私のお店のあるテナントビルは倒壊せずに残っていたのです。お世辞にもお金をかけたとは言えない、いやむしろ安くあげたような建物でしたが…

地震から十数日が経ちずっと閉店したままで大阪の自宅で待機していましたがいつまでもこんな事をしてもと思い立ち、誰も来れないとはわかっていましたがある日お店を再開する事にしました。がその時電気は来ていたものの水道とガスは復旧していなかった為、給水してきた水で軽く髪を濡らしてのカットのみの営業を再開しました。初日は確かお一人だけ来て頂いた記憶がありますがそうこうしているうちに他の地域よりも先駆けてなんと水道が復旧したのです。ただガスがまだなのでお湯を沸かすことが出来ずどうにかならないものかと考えていたら、創業以来今でもお越しいだいでいるYさんが鉄の棒のような電熱器を貸して頂けたのです。そこで私はプラスチックの衣装箱を買ってきてそこに水を溜め電熱器を入れるとかなり時間はかかりますがお湯が沸いたのでそれをポンプで吸い上げてその先にシャワーヘッドをつけて臨時シャンプー設備が出来上がったのです。

本当にYさんには感謝しております。

それからは、シャンプーしてくれる美容室があるとうちの顧客様でない方もどこからか聞きつけて来られ多数御来店頂き久しぶりのシャンプーに皆さん大変喜んで頂きました。

今振り返ってみると当時そうやってほんの些細なことでも幸せを感じ、命が助かっただけで充分と感じたあの頃、モノが溢れ元通りになった今もう一度思い返し氣を引き締めたいと思います。